

### かなはどんな漢字よりもむずかしい

これほど物覚えの悪い例は、わたしはじめてですが、「七」や「八」の覚えにくいことは、もう十年も前からよく経験しています。「七」を「ハチ」、「八」を「シチ」、または「ク」と読む子どもは、いままでも実に多くありました。これは、これらの数字が抽象的なものであり、字形となんの結びつきもないからです。字形がどんなにかんたんであっても、意味と結びつかなければ、記憶にならないわけです。

わたしは、「一、二」ほどやさしい字は世の中にない、といままで思っていました。けれども事實は、「車・鳥・畑」のような具体的な内容をもった字よりはむずかしかったのです。これがわかったのは、この子のおかげだったと思います。

さらに、このむずかしい漢字よりも、かなのほうがまだまだむずかしいことがわかったのも、この子のおかげです。一学期を終えて、一つのかなも覚えられなかったという、この事実です。

これは、意外のようであり、よく考えてみれば、すこしも意外なことではありません。かなは、どんな抽象的な漢字よりも、ずっと抽象的なものだからです。